



事件発生地鹿鼻山（しばなやま）の写真

一九八二年釜石市教育委員会発行・釜石市文化財書第十三集・釜石市「歴史の道」調査報告書浜街道・上巻にも驚く程詳しい記述があります。矛盾点も多くあります。

一九九三年に出版された大船渡町の平山憲治著大船市周辺の歴史散歩は、菅生家文書と吉田政吉著「続新遠野物語」一九七三年発行により孫太郎事件を紹介しています。

「物語」なので、記述はすごく面白いのですが、発生経過は特に矛盾点が多く真実かどうか疑問です。主な内容は、孫太郎を殺した主犯は、水戸の天狗党だった浪士、篠本万次郎で共犯が明治二年十二月二十二日辰の下刻、宮ノ目の殺生場（遠野市風の丘付近）



孫太郎の墓の写真

徳峯義賢信士俗名孫太郎と刻まれた孫太郎の墓と呼ばれる碑が現場近くに建てられ、今でも通路や周囲が手入れされ、お花が手向けられています。立根町菅生の菅生家文書には、同年、十一月二十三日の晩。本郷で大火があり残った家が四、五軒で、船四、五十艘が焼けた事も記録されています。

この外に同二年は、過去帳に唐丹村の村上吾右エ門所有の鑿船に乗り組んだ十三人の内九人が、溺死したとの記録があります。さて、昨年八月一日号

に訂正箇所があります。明治二十九年の津波の死亡者数について、山名調書の一六八人が最も実数に近いのではないかと書きました。山名調書も津波の年の調査であり完全とは言えないようです。盛岩寺の過去帳でも一度戒名をつけた後、失線で消した（後に生存が確認された）人もあるなど、調査年月日の古い方が正確と思われる。大船渡市盛町の洞雲寺の大位牌と盛岩寺の十三回法要の掛け軸を数え直した結果、どちらも一六四九人で、根白の真称寺檀家の人や神葬祭の人々も含んだ死者数といわれるこの数字の方が最も正確な数字ではないかと思われま

す。謹んで訂正させて頂きます。それから、前号で紹介した気仙郡大肝入吉田家文書第一集は、三月下旬完売となりました。読みたい方は、公民館にありますし、購入された方も多数おられますので、唐丹の歴史を語る会会員にお尋ねください。